



TITLE:

昭和五年三月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

昭和五年三月の天象. 星 1930, 3: 21-23

ISSUE DATE:

1930-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168992>

RIGHT:

昭和
五年 三 月 の 天 象

太 陽

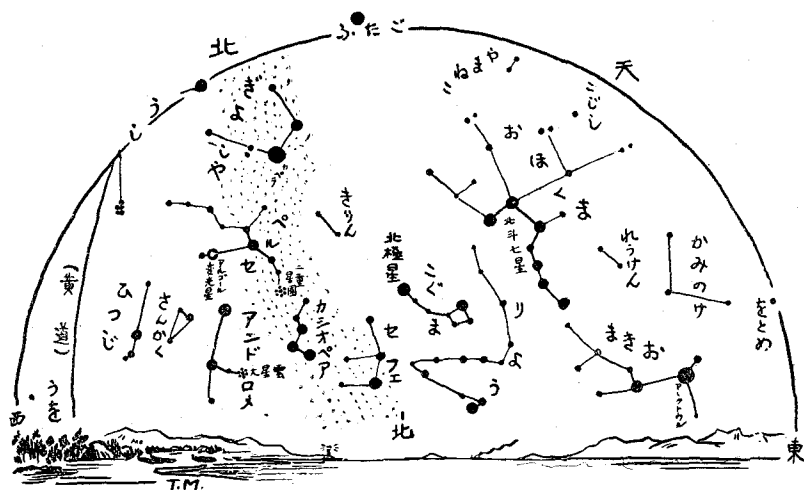
日	赤 經	赤 緯	視 直 徑	星 座
1	22時46分52秒	南 7度45分	32分20秒	みづがめ
11	23時23分50秒	南 3度29分	32分15秒	う を
21	0時 0分33秒	北 0度 4分	32分 9秒	う を
31	0時36分56秒	北 3度59分	32分 4秒	う を

月始め双魚宮に在るが、21日から白羊宮に侵入する、即ち此の日が春分であつて、同日午後6時近くに、太陽は春分点を通過する。即ち此の日は晝夜平分の日である。日出が午前6時4分、日入が午後6時12分と曆に出てゐるので晝間の方が長い様だが、此れは太陽上縁が見え始めてから、見え終るまでの時刻を示してゐるためである。

月

月 の 相	時 刻	視 直 徑	星 座
上 弦	8日午後1時 0分18秒	31分51秒	う し
満 月	15日午前3時58分24秒	32分49秒	し し
下 弦	22日午後0時12分36秒	29分50秒	い て
新 月	30日午後2時46分24秒	30分24秒	う を
近地点通過	13日午前5時24分	33分 0秒	し し
遠地点通過	25日午前2時24分	29分50秒	や ぎ

本月は先づ1日午前8時に金星を追越すのが、月の遊星歴訪の始まりであつて、3日午前9時には天王星に追ついて、南2度の所を通り、7日午後11時には木星と並ぶ。更らに13日午後2時には海王星に出合つて、23日午前8時に土星を追越し、28日午前1時には火星に追ひ付いて、南側を通り、30日の午前8時に水星と出合ひ、同日午後6時には、再び天王星に追いつく、そして31日午後5時に金星に追ひ付いて、蔽掩を起すが、残念な事には月齡が僅かに1日であるから、月の位置を探し出す丈でも大變である。



遊 星 界

水星 曉の星であり、月始めは「やぎ」座にあるが順行して、月末には「うを」座に至る、2 日午前 6 時に火星に追ひ付いて僅か半度の近距離を通過する。詳細前月號を参照され度い。視直徑は月始めに 5 秒半（角）月末に 5 秒、光度は零等、月末には太陽に近く觀望不能。

金星 宵の星ではあるが、太陽に近く観望困難。

火星 曉の星であるけれど太陽に近く、月末程観望し易い。視直径は4秒、光度は正2等。月末の位置は、「みづがめ」の東部に到る

木星 宵の南天に負2等の光度で、「うし」座の中央を順行してゐる。視直径 35 秒。徐々に太陽に近くなるので見難くなつて来る。

土星 曉に東天に登る。まだ太陽に近いので觀望は餘りよくないが、視直徑 14 秒半・光度正 3 等級・「いて」座の中央を順行中。土星の輪が、視線となす角度は 25 度であり、今後一二ヶ月は此の角度が次第に減少する。

天王星 宵の星であるが太陽に近く觀望不能.

海王星 宵に東天にあり、「しし」座主星レグルスの東方を逆行中
光度 8 等，視直径は 2 秒半。